

# チャレンジ・ザ・リデュース ～これまで重ねてきた話し合い、そして、これから～

「リデュース」には、製品の製造や流通、販売方法、サービスの提供など、さまざまな経済活動が関係しているため、市民・事業者・行政の3者が共通の認識を持って取り組むことが重要です。そこで、平成21年7月に「横浜市チャレンジ・ザ・リデュース市民委員会」と「横浜市チャレンジ・ザ・リデュース3者検討会」を立ち上げ、市民・事業者・行政の3者がどのようにして共通の認識をもって取り組んでいくかについて検討を進めてきました。

市民委員会では、消費者の視点に立って、リデュースの推進方策について話し合い、その成果を3者検討会へ提案しました。3者検討会では、その提案を受けて議論・情報共有を行い、横浜のリデュースについて、共通目標や役割分担を確認し、具体的な推進体制（プラットフォーム）の概要をまとめました。

これらに基づき、平成22年10月にリデュースの取組推進のしくみとして「ヨコハマRひろば」を立ち上げ、横浜におけるリデュースの取組を推進していきます。



### 〈チャレンジ・ザ・リデュース〉

平成21年7月、横浜市チャレンジ・ザ・リデュース市民委員会、3者検討会を設置（全13回開催）

#### 横浜市チャレンジ・ザ・リデュース市民委員会構成メンバー

横浜市町内会連合会  
横浜市環境事業推進委員  
保土ヶ谷区G30事業部会  
都筑区G30サポーター  
横浜市地球温暖化対策推進協議会  
YES協働パートナー  
横浜市環境活動登録団体  
横浜市老人クラブ連合会  
よこはま一人子育てフォーラム  
I LOVE YOKOHAMA (SNS mixi)

#### 横浜市チャレンジ・ザ・リデュース3者検討会構成メンバー

筑波大学  
神奈川県生活協同組合連合会  
日本チェーンストア協会  
日本チェーンドラッグストア協会  
横浜十店会（横浜市内百貨店）  
（社）日本フランチャイズチェーン協会  
（社）日本包装技術協会  
プラスチック容器包装リサイクル推進協議会  
横浜市内ホテル支配人会  
横浜商工会議所  
（社）横浜市商店街総連合会  
横浜農業協同組合  
横浜市チャレンジ・ザ・リデュース市民委員会  
横浜市資源循環局  
横浜市地球温暖化対策事業本部  
横浜市経済観光局

## 3Rとは？

- リデュース (Reduce)** : ごみそのものを減らす
- リユース (Reuse)** : 何回も繰り返し使う
- リサイクル (Recycle)** : 分別して再び資源として利用する

3Rの3つの取組を、環境負荷の低い順番に並べると、①ごみになるものをできるだけもらわない、物を大切に使うなどのことで、ごみそのものを減らすこと→**リデュース**、②一度つくったものは何回も繰り返し使うこと→**リユース**、③ごみとして出すときにはきちんと分別して、資源や熱エネルギーとして活用すること→**リサイクル** となります。

G30で発揮した横浜の市民と事業者の素晴らしい行動力を活かし、G30で実践した「リサイクル」に続く新たなステージとして、もっとも環境にやさしい「リデュース」の取組を進めていきましょう。

平成22年8月  
横浜市チャレンジ・ザ・リデュース3者検討会  
事務局：横浜市資源循環局3R推進課  
電話：671-2530 FAX：663-5834



# 「G30」の次のステージへ

横浜らしく、かっこよく、「もったいない」を楽しもう。

## リデュース (ごみそのものを減らす)

ばら売りや量り売りで必要な分だけ買う  
パック売りをやめ、ばら売りや量り売りにする  
余分な包装を断る  
容器を薄くする  
マイ箸を持ち歩く  
マイボトル利用者には割引する  
ホテルではマイハブラシを使う  
こだわりのデザインのマイボトルを持ち歩く  
お気に入りのものを修理をして大事に使う  
マイ箸キープサービスを始める  
シャンプーは、詰替可能な製品を選ぶ  
割箸からリターナブル箸に切り替える  
ジェラートはコーンに入れて全部食べる  
お気に入りのお茶をマイボトルに入れてでかける  
紙おむつを布おむつに切り替える  
マイカップで使用可能な自販機を導入する  
繰り返し利用可能なコーヒーフィルターを使う  
規格外の野菜を販売する

ビールはリターナブル瓶入りのものを選び、お店に返す  
瓶ビールやびん牛乳を売る  
メニューを工夫し、残った料理は持ち帰り可能にする  
ご飯は、大、中、小を選べるようにする  
お皿に食べられる分だけ盛り、食べ残しをしない  
イトインでは、使い捨ての食器を使わず、リユース食器を使う  
賞味期限の近い食品は、冷蔵庫に品名と期限を書いたメモを貼り、必ず使い切る  
エコ・クッキングを実践してみる  
大根の皮を使ったおいしいきんぴらをおすそ分けする  
だしに使ったかつおぶしをふりかけにする  
オレンジの皮でジャムをつくる  
あまった食材は冷凍して使い切る  
オフィスで紙コップではなくマイカップを使う  
フリーマーケットに参加してみる  
包装紙をやめてテープにする  
お店で割箸などをもらわない  
パッケージを軽量化する  
レジ袋を薄くする  
紙袋をいくつももらわない  
レジ袋を配らない  
食品トレーを省略する  
詰替用商品を安く売る  
個別包装のお菓子を選ばない  
食材の使い切りメニューを考える  
マイ箸洗浄サービスを始める  
キッチンペーパーではなく、ふきんを使う  
イベントでリユース食器を使う  
重いものを楽しみに持ち帰る  
冷蔵庫の中身をチェックし、お買い物メモをつくって買い物に行く  
リサイクルショップを積極的に活用する  
レストランの洗面所で、使い捨てのペーパーではなくマイタオルを使う  
魚の「骨」の美味しい食べ方をお客さんに教える  
だしに使った昆布をつくだ煮にする  
ラップを使わずにレンジで使える密閉容器を販売する  
トイレトペーパーは芯の無いものを選ぶ  
古本屋を活用する

※オレンジ色の文字は主に市民の、青の文字は主に事業者の取組例です。  
※リデュースに関連したリユース（再使用）の取組も掲載しています。

「リサイクル」はとても大切なことですが、リサイクルにもエネルギーを使い、CO<sub>2</sub>が発生します。もっとも環境にやさしいのは「リデュース」。それは、できるだけ“ごみとなるもの自体を減らす”こと。必要なものを見極めてごみになるものを受け取らず、必要以上の物を買わないスマートな暮らし。そんな、かっこよくエコをプラスしたライフスタイルを、みんなで横浜から発信していきませんか？

横浜市チャレンジ・ザ・リデュース3者検討会

横浜は、新たな環境行動にチャレンジします。

みんなで支える みんなで応援! 誰もが参加できる

# “リデュース”の取組推進のしくみとして、リデュース ヨコハマRひろばをつくりまします!



「ヨコハマはG30」マスコット  
へら星人ミーオ

リデュースの取組  
「こんなことできたら  
いいな!」を実現す  
るために

## 情報発信

- 毎日の暮らしの中に、リデュース行動の  
タネがあることを伝えます。
- 「リデュース」を具体的にイメージしやす  
いプロジェクトを紹介し、参加を呼びか  
けます。

循環型の  
ライフスタイルや  
ビジネススタイルを  
提案します



いろいろな取組を  
みんなで共有して、  
リデュースの輪を  
広げていくために

## 交流の 場づくり

- リデュース行動に関する想いや、  
自分が実践しているリデュース行  
動の紹介など、気軽に仲間に参加  
できる場をつくり、リデュースの  
サポーターを増やします。



## 支援・ マッチング

- 新たな取組に必要な  
協力者や事業者等を  
紹介します。
- 市民、事業者、行政  
が力を合わせ、情報  
提供や実施にあたっ  
ての支援などを行っ  
ています。

情報サイト

イベント

メールマガジン

リデュース  
ヨコハマR委員会

リデュース  
ヨコハマRひろば

## リデュース ヨコハマRひろばの内容

※平成22年10月スタート予定

### 情報サイト (ホームページ)



- 「3R」や「リデュース」について、わかりやすく説明します。
- リデュースの取組に関するさまざまな情報を提供します。
- リデュースに関連するイベントや取組内容を、気軽に投稿できます。
- みんなで応援! 市民・事業者等が、サポーターやパートナーとして登録できます。

### イベント



- 学校や地域で出前講座等を開催します。
- 各区のイベント等に出展します。
- 区役所をはじめとした公共施設等で展示を行います。

### メールマガジン等

- メールマガジンを配信します。
- 定期刊行物などに、記事を掲載します。



## リデュース ヨコハマR委員会

市民・事業者・行政で構成する委員会が、  
情報の提供、広報、協力者の紹介などを行い、  
新たな取組の実現をお手伝いします。



提案・相談

## 検討会議

市民委員を中心に検討を行い、必要に応じて、関係事業者等  
とともにプロジェクトチームを結成し、提案者の取組を支援  
していきます。



## アイデアの実現

## 結果検証

情報サイトやイベントを通じて取組結果を発信し、次の新たな取組へ活用していきます。

## 「リデュース」を広げていく上で、大切にしたいこと

### ●なぜ「リデュース」が大切なのか知ること

ごみの減量に向けた取組の中でも一番環境にやさしいのは、できるだけごみとなるもの自体を減らす取組である「リデュース」。その大切さを知ること、積極的に取り組めます。

### ●それぞれの立場で行動し、協力しあうこと

レジで「袋はご入用ですか?」と尋ねること、「いりません」と答えることなど、それぞれの立場でできることがあります。事業者は、消費者のニーズに合わせて行動しています。事業者の優れた取組を行政がPRし、消費者である市民がその取組を応援していくなど、市民・事業者・行政の3者が連携して取組を進めていくことが必要です。

### ●かっこよく、楽しみながら取り組むこと

お気に入りの物をメンテナンスしながら大切に使い続けたり、こだわりのデザインのマイバッグやマイ箸などを愛用すること。我慢するのではなく、他の快適な方法を見つけることもリデュース行動につながります。そんな、新しい横浜のライフスタイルをつくっていきましょう。

### ●身近なことから少しずつ広げていくこと

マイバッグやマイボトルを使ったり、余分な包装を断るなど…。リデュースの取組は、新しいことでも特別なことでもなく、すでにみなさんが取り組んでいるエコ行動の中にも含まれているものなのです。身近な取組をムリなく続け、少しずつ広げていきましょう。

### ●お互いに伝えあうこと

いろいろな取組のヒントやアイデアを伝えあうことで、仲間を増やしていきましょう。リデュースの取組は、毎日の暮らしに直結するものです。ライフスタイルやビジネススタイルそのものを見直し、いろいろなリデュースを進めていきましょう。

### ●新たな取組を始めること

もっとみんなが気軽に取り組めるような新たなリデュースの取組。その実現によってより多くの方にリデュース行動の輪が広がります。みんなで協力しあってアイデアを実現し、地域から生まれた小さな取組をつみかさねて横浜から発信していきましょう。